



室木 俊美

TOSHIMI MUROKI

1956. 8. 13生 (55)

H10. 7入会

歯科口腔外科医院 院長

〈勤務先〉七尾市中島町浜田レ-41-1

Tel (0767) 66-0489 FAX 66-0489

E-mail letter@muroki-tooth.com

URL www.http://muroki-tooth.com/

〈自 宅〉七尾市中島町浜田レ-21

Tel (0767) 66-0117 FAX 66-0117

(歯科医)

メッセージ

今年は、ポールハリスがロータリークラブ（以下 RC と略する）をシカゴで結成して 106 年目、中島クラブが設立式典をして 40 年です。つまりロータリーが誕生して 66 年目で我々の中島クラブは誕生した。

私は中島クラブに入会して 14 年です。したがってロータリーが誕生して 92 年で私はロータリアンになったということです。

ロータリアンになった喜びとは一体なんでしょうか？本来 RC の活動とは全世界的に援助活動を行う「機関」です。自国の貧困や救済を目的にしていません。ですから我が国においては私たちの世界的な活動は「他方のクラブ」が行う自国奉仕の理念の陰に隠れて目立ちません。これはこれで結構。我が国の RC は今だ戦後処理に追われてアジアを中心に留学生受け入れ、一方では、貧困地域での学校の設立、田畑の開拓など世界的にはかなりの援助を行っています。ですから我が国では RC って何をしている団体なの？とよく聴かれます。ここで私なりに RC に入ってよかったことを 40 周年の節目として考えてみたいと思います。

まず、①異業種交流→これはロータリアンの直球ど真ん中でしょう。国際観、人種観の隔たりなく接して友情が育まれるのです。②別世界を知る→①に近い考え方です。それぞれの業種で偏見はあるが特に医学の面では甚だしい。私はロータリーの友や RI からいつも情報を得ています。③息抜き→例会での雑談や理事会がこれに相当します。④バッジの面白さ→職業柄非常に学会やセミナーが多くロータリーバッジを探すことで学閥関係なしの友人作りが可能です。私がクラブ幹事であったころ、友好クラブ探しに学会場でまず行なった手段はロータリーバッジ探しでした。これが功を奏してめでたく御敦賀西クラブと締結したのです。

ロータリーは変わったのでしょうか？変わりつつあるのでしょうか？私は 40 周年記念式典で「40 周年の歩」と題してプレゼンを行いました。このスライドを作成するためにはいろいろ過去の当クラブのこと、RI の歴史、他クラブの現状、ロータリーバブル期など勉強をしました。当クラブと比較をするためです。中島クラブが設立された 40 年前と現代を私なりに比較してみます。参考資料は全国の 1972 年(昭和 47 年・皇紀 2632 年)に創立された「同い年」のクラブ 25 です。この年はプレゼンでもお話したが RC の誕生が最も多い年でした。ここに 40 年前に入会されて関東地方の某クラブの会員の日本の RC を憂うメッセージを紹介します。この文章はなかなか良いです。「当時、RC へ入会する喜びとは、各職業人を代表する一人に限られる入会資格でありました。RC に入会することは誇りであったし、職業を代表する選ばれた一人だった。あれから 40 年、世界も社会も経済も国情も徐々に確実に変わった。ロータリーも変らざるを得なかったと思う。然し、ロータリーの本領は創設時も私の入会時も現在も変わっていないと思っています。変わったのはロータリアン？」(一部改変)と締めくくっています。本質は、そこのクラブがクラブ内に目を向けるのか、クラブ外(外交)に目を向けるのかでクラブ運営、存続が決まるのではないのでしょうか。この事実の最たる出来事は、E-Club の出現ではないのでしょうか。時代を反映して出来た RI の規定審議委員会で採択されたサイバークラブです。インターネット上でメイクアップ可能な E-Club を大いに利用して時代を感じたいものです。

最後に私の創立 40 周年に対するメッセージを書いて最後にします。それは 40 年前の RI とまったく同じです。